

福祉有償運送／制度特化型・運行管理システム

FUKUSO

フクソウ

制度・報告・監査に耐えるための実務システム

福祉有償運送事業者／自治体／社協／支援団体／導入検討責任者 向け

1.FUKUSOが実現すること



このシステムを導入することで

福祉有償運送業務を 制度に準じて、安心して、 継続的に運用できます

FUKUSOは、福祉有償運送制度の要件を**最初から守る設計**で作られています。

記録・報告・監査対応を一元化し、担当者が変わっても説明責任を果たせる運用を支えます。

2.福祉有償運送とは？



公共交通を単独で利用することが困難な方のための、特別な移動支援制度です。



制度に基づく利用条件

公共交通を単独で利用できない方が対象
。誰でも使えるサービスではありません
。



営利目的ではない

利益を追求する事業ではなく、地域の福祉を支える社会的な取り組みです。



記録・報告が必須

運行実績の記録、月次・年次報告、監査への対応が制度上義務付けられています
。

※ 道路運送法第79条に基づく登録制度

3.他制度との明確な線引き



福祉有償運送は、他の移動支援サービスとは「まったく別の制度」です。

項目	福祉有償運送	介護保険内送迎	介護タクシー
即時・自由配車	×	×	○
営利事業	×	×	○
立ち寄り（買物・薬局）	○ 可能	× 原則不可	△
月次・制度報告	必須	必須	不要
運用責任	管理者	事業者	事業者

4.立ち寄り送迎ができる"唯一の制度



自宅



立ち寄り



目的地

日常生活に必要な立ち寄りを含めて送迎できる制度は、**福祉有償運送**だけです。

介護保険内送迎では原則、立ち寄りは認められません。

介護タクシーも立ち寄りには制限があります。

5.FUKUSOが想定する「利用者」の考え方

FUKUSOは、年齢や障害の有無で利用者を限定するシステムではありません。

利用者アプリの使い方は3パターンあります：

本人が使う

スマートフォン操作が可能な利用者ご本人がアプリを使用します。

代理で使う

家族・後見人・支援者が代理で操作。本人が操作できない場合も対応可能。

アプリを使わない

利用者・家族・支援者が事業者へ電話・紙・対面で連絡。現行業務と同じ窓口で運用できます。

設計思想：本人が操作できない場合でも運用が成立する設計です。アプリ利用の有無に関わらず、システム全体は機能します。**スマホを前提としないシステムです。**

6.現在の福祉有償運送業務の現実



多くの現場で、以下のような課題を抱えています。



Excel・紙・手書きの混在

記録方法がバラバラで、データの突合に時間がかかる



立ち寄りがあるほど記録が煩雑

経路・時間・目的の記録が複雑になり、ミスが発生しやすい



月次・年次報告の作成負担

毎月の集計作業に多大な時間を要している



担当者依存の属人運用

特定の人しか分からない運用が常態化している



監査・立入時の不安

説明を求められたとき、すぐに根拠を示せない

7.導入しない場合に残り続けるリスク

便利さの問題ではなく、**説明不能リスク**が残り続けます。

リスク 1

担当者変更時に説明できない

引き継ぎ資料が不十分で、新任者が運用を理解できない

リスク 2

過去実績をすぐ出せない

監査で求められても、データを探すのに時間がかかる

リスク 3

立ち寄りの説明で詰まる

立ち寄りの必要性・経緯を証明できない

リスク 4

「そのExcelは誰が作った？」

提出書類の作成経緯・根拠を説明できない

これらは「不便」の問題ではありません。

制度運用としての説明責任に関わる問題です。

8.FUKUSOで業務はこう改善される



運行・実績・立ち寄りの一元管理

最初から制度前提で情報が整理され、記録の抜け漏れを防ぎます。



月次・報告レポートをそのまま提出

提出用レイアウトでそのまま出力。Excel再編集が不要です。



確定後は再計算・再編集不可

提出書類の信頼性を守るため、意図的にロックします。

業務フローの変化（従来とFUKUSO導入後の比較）

従来：担当者が複数ツールを行き来

担当者がExcel関数を作成・修正し、計算ミスや属人化リスクが発生
担当者ごとにExcel構造が異なり、引き継ぎ時に再整理が必要

FUKUSO：記録から提出まで一本化

担当者が変わっても同じ手順で運用可能。引き継ぎリスクを軽減
誰が担当しても同じ画面・同じ手順で運用可能

9.FUKUSOの基本コンセプト



制度を守る

福祉有償運送の
制度要件に準拠



説明責任に耐える

監査・報告に
いつでも対応可能



判断は人が行う

最終決定権は
常に管理者に

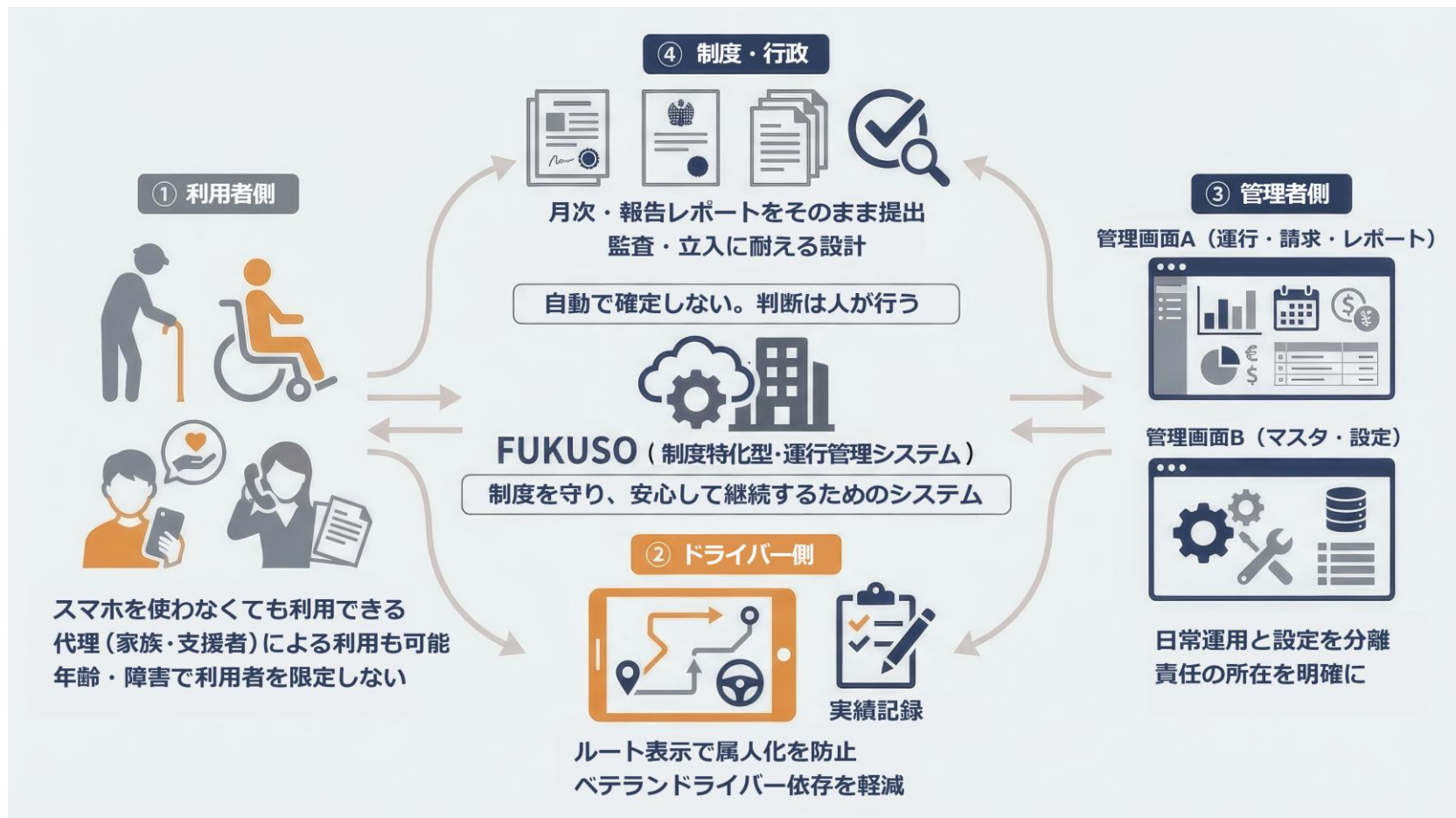


自動確定しない

参考情報の表示のみ
確定はスタッフが判
断

FUKUSOは「便利なツール」ではなく、
制度運用を支える基盤として設計されています。

10. システム全体構成



11.なぜ配車アプリ型にしていないのか

配車アプリの発想は、福祉有償運送の制度と根本的に相性が悪いからです。

理由

1

即時配車は制度と相性が悪い

福祉有償運送は「予約制」が前提。今すぐ車を呼べる仕組みは制度の趣旨に反します。

理由

2

システムが勝手に確定してはいけない

距離・走行情報の表示や参考金額の算出は行いますが、最終確定は必ずスタッフが判断します。

理由

3

利用者主導は責任が曖昧

利用者が自由に予約を入れる仕組みでは、管理者の責任所在が不明確になります。

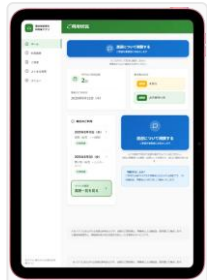
12. FUKUSOの画面構成と役割分離

— 制度運用を成立させるための4つの画面 —



FUKUSOは4つの画面で構成。役割を明確に分離することで、責任の所在を明確にします。

各画面は、スマートフォン・タブレット・パソコンに対応したオールラウンド設計です。



利用者アプリ

(利用者・家族・支援者)

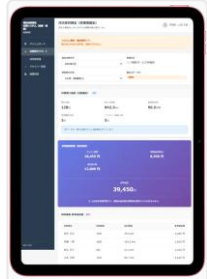
利用者ご本人、または家族・支援者が利用します。
スマートフォン操作が難しい場合でも、
電話・紙・対面での依頼を前提とした
運用が可能です。



ドライバーアプリ

(運行・実績記録)

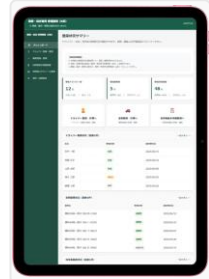
運行予定の確認、ルート表示、実績記録を行います。
ベテランドライバーへの依存を軽減し、
属人化を防ぎ、誰が担当しても同じ品質で
運行できる体制を支えます。



管理画面A

(日常運用・請求・報告)

日々の運行管理、実績確認、請求・月次レポート
出力を行います。
提出用レイアウトでそのまま出力可能な設計とし、
制度上の報告・確認業務に対応します。



管理画面B

(マスタ・設定管理)

車両・ドライバー・利用者などのマスタ設定を
管理します。
日常運用とは明確に分離し、
設定変更による影響や責任の混在を防止します。

※ FUKUSOは、日常運用・記録・設定を明確に分離する設計により、制度運用に必要な説明責任と、安定した継続運用を支えます。

13.料金体系について（考え方）



FUKUSOの料金体系

車両台数ベース課金

利用者数やドライバー数が増えても、料金は変わりません。

福祉有償運送の運用規模は「車両台数」で決まります

。

利用者やドライバーが増えることで

追加費用が発生する仕組みではありません。

料金に影響しないもの



利用者数の増減

何人登録しても同じ料金



ドライバー数の増減

何人登録しても同じ料金



運行回数の増減

何回運行しても同じ料金

※ 詳細金額は別途ご案内いたします

14.代理店制度について



地域に根ざした導入・運用サポートを実現するために

小規模事業者

代理店・支援団体経由

地域の社協・NPO・支援団体が

導入から運用まで伴走します。

直接販売はいたしません。

- ✓ 地域密着のサポート
- ✓ 既存の支援関係を活かせる

中規模以上

直接サポート

一定規模以上の事業者様には

開発元が直接対応いたします。

導入支援・カスタマイズ相談も可能です。

- ✓ 専任担当による支援
- ✓ 要件に応じた柔軟な対応

15. 決裁者の方へ



導入にあたってご安心いただきたいこと



勝手に仕様が変更りません

制度準拠を最優先とし、予告なく機能が追加・変更されることはありません。

安定した運用を長期にわたり維持します。



制度最優先の設計

便利さよりも、福祉有償運送制度の要件を満たすことを最優先しています。

監査・行政報告に対応できる設計です。



長期運用・監査耐性

短期的な便利さではなく、5年・10年先も説明責任を果たせる

記録と運用を支えるシステムです。

16.なぜ、私たちはこのシステムを作ったのか

便利な配車アプリを作るためではありません。

制度を守り続ける現場を、
静かに、確実に支えるため。

福祉有償運送は、地域の移動を支える大切な制度です。

しかし、制度を守りながら運用を続けることは簡単ではありません。

私たちは、その負担を少しでも軽くし、

安心して事業が続けられる環境を提供したいと考えています。

17.導入までの流れ



お問い合わせから運用開始まで



導入期間は**事業者様の規模・運用状況・準備状況**により異なります。
既存データの移行サポートも含め、個別にご相談ください。

18.まとめ



- 福祉有償運送業務を制度に準じて安心して継続できる運行管理システムです。
- 参考情報の表示とスタッフによる最終確定で、説明責任を果たせる設計です。
- 月次・報告レポートをそのまま提出できる形式で出力。監査にも安心して対応できます。
- 年齢や障害で利用者を限定しません。スマホを使えなくても運用可能です。

FUKUSO

福祉有償運送 運行管理システム

安心して
続けるための
システムです。

開発元について



アプキー合同会社

APPKEY LLC



制度と運用を理解した、モビリティシステムの専門集団

福祉有償運送をはじめとする

制度に基づく移動支援・運行管理領域において、

制度要件と現場運用の両立を前提としたシステム設計・実装を行っています。



大手モビリティ事業者・交通関連事業者への提案・導入実績

タクシー会社・モビリティ事業者向けの

業務システム・運行管理・業務基盤の設計・導入を通じて、

「止められない現場」を前提としたシステム構築に携わってきました。



「作って終わり」ではなく、運用が定着するまで伴走

システムを納品して終わりではなく、

現場オペレーションが制度どおりに回り続ける状態をゴールとし、

導入後の運用定着・説明責任・監査対応までを見据えた支援を行います。

【 WEB 】 <https://appkey.jp/fukuso-lp>

【 問合せ 】 https://appkey.jp/contact_form/